

1 調査概要

本調査は、第3次飯南町総合計画及び第3期飯南町総合戦略の策定にあたり、まちづくりや地域の産業等を担う企業・団体、地域おこし協力隊、町外からの移住者を対象にヒアリングを行い、各々の取り組みに関する課題や今後の活動意向・展望等を把握し、計画検討の際の基礎資料とすることを目的とした。

調査期間	令和5年10月下旬～11月上旬	調査方法	郵送、メールによる配布・回収	対象数	30件	回収数	21件（回収率 70%）
------	-----------------	------	----------------	-----	-----	-----	--------------

※2.2、2.9、2.10の分野欄「移住・定住」の回答は、町外からの定住者（移住者）ヒアリング結果

2 調査結果（企業・団体／地域おこし協力隊 へのキーパーソン・ヒアリング）

2.1 過去10年間の飯南町の施策について

（1）肯定的な意見

- これまでの町の取り組みに対する肯定的な意見としては、「定住施策」「医療施策」「子育て支援」などが挙げられた。

分野	影響
地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●U・Iターン者の定住率が他の自治体より高く定住対策は評価できる ●地域活性化、持続的に存続可能な地域として残るための様々な施策について一定の評価をする ●町立飯南病院に対する支援強化やスタッフの確保充実など（地域医療の維持継続） ●各種助成金など、色々な活動支援をいただいている
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て世代の補助は手厚くなったと思う
文化	—
教育	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもへの支援が充実している ●コロナ禍での商品券配布等、臨機応変に対応している ●子どもに対する医療費の負担を感じないことや、地域元気券のように経済を刺激するような政策はありがたい
農業	—
商工業	<ul style="list-style-type: none"> ●10年間の定住施策の推進により、U・Iターンが増加し、人口の社会増につながったことは一定の成果があった ●体系化された定住施策によってU・Iターンの皆さんが増加したことは成果と考える ●飯南高校に対する支援は町内外から就学する人を集めたと思う ●飯南病院を中心とする医療施策は住んでいくうえでとても大切であり成果を上げている
観光	<ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援は充実しており評価する ●飯南病院の黒字化を評価する
医療	—
福祉	—

（2）否定的な意見

- 一方で、否定的な意見としては、「自治体の活性化等について町の支援が不十分」「町のスローガンが流動的であった」「教育関係施策（不登校等）」「座談会・たまり場等の開催が不足」「U・Iターン者の定住促進等」「整備した設備の活用が不十分」「小規模事業者の減少」「町保有施設の老朽化対策」などが挙げられた。

分野	影響
地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●自治体の活性化を公民館（小さな拠点）に任せているのが現状 ●町のスローガンを毎年のように変遷したことで、町民は何をすればよいのか分からなくなっていたと思う ●4小学校区の異なる文化、生活圏域、医療機関などを足早に一本化しようとしたことの弊害があったと思う ●責任が感じられず何事も中途半端な感じを受ける ●不登校者が増加しているが教育項目では触れられていない ●自動運転車両（い～にゃん号）に乗っている方をほぼ見かけないが必要なのか ●座談会や、若者や女性などが集まれる「たまり場」の存在を全く耳にしなかった
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ●U・Iターンも充実してきているが、定住に繋がりが切っていないことが課題
文化	—
教育	<ul style="list-style-type: none"> ●設備を充実させたことは評価できるが、その活用が不十分に感じる ●財源の不安
農業	—
商工業	<ul style="list-style-type: none"> ●現状の施策のみでは小規模事業者が減少していくことが懸念
観光	<ul style="list-style-type: none"> ●Iターン者への過剰な優遇措置 ⇒ 農業従事者以外は転出傾向にある ●町所有の施設の老朽化が進む中、放置されているものが目立つ（景観悪い）
医療	—
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ●なかなか思ったような成果が出ていないように感じる ●未曾有の状況の変化があって難しいと感じる

2.2 飯南町の対外的アピールポイント（魅力）

- 対外的なアピールポイント（魅力）としては、複数の分野で「日本一の大しめ縄のまち」「自然との共存」「食べものが美味しい」「定住支援施策の充実」「子育てのしやすさ」「子どもの成長に良い影響を感じる」「地域の人や暮らしのあり方」などが挙げられた。

分野	影響
地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●日本一の大しめ縄のまち飯南町 ●ブランドメッセージ「余白あります」 ●自然を活かした体験活動、地域づくり、産業おこし ●四季のはっきりした日本の農山村の原風景 ●周辺の過疎地と比べて、交通の便がいい ●食べ物やお水がおいしい ●自然が多い、星がきれい ●のんびりとした時間が過ごしやすく「住む」には良い町
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ●自然豊かな場所で生活できる ●新鮮な野菜が手に入る
文化	<ul style="list-style-type: none"> ●子育てのしやすい町 ●自然に恵まれ地域の方々と一体化した住み良い町
教育	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の人、暮らし ●なにかやってみようことを発信すると必ず協力者が現れる ●自然と共に共存しながら生活できること ●少人数の中で教育が得られること
農業	<ul style="list-style-type: none"> ●リンゴ園 ●パプリカ ●お米
商工業	<ul style="list-style-type: none"> ●定住支援施策 ●森林セラピー ●子育て環境のすばらしさ ●保小中高一貫教育（飯南高校の魅力による人づくり） ●定住施策の充実 ●生命地域教育の実施
観光	<ul style="list-style-type: none"> ●日本一の大しめ縄の制作の町（一択）
医療	<ul style="list-style-type: none"> ●自然を活かした暮らし（農業・アウトドアアクティビティ・四季） ●地価 ●空き家活用 ●伝統を体感できる環境（しめ縄・祭り・神楽） ●充実した支援制度（定住・子育て）
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ●豊かな自然、湿地帯、大万山 ●子育て支援の充実性
移住・定住	<ul style="list-style-type: none"> ●食材が美味しい（お米、お水、野菜） ●子どもが素直にたくましく育つ ●雑音がない ●ないものがたくさんあるので自分でつくる楽しみが増える ●どこかにわざわざ出かけなくてもちゃんと四季を感じられる ●人が優しい

2.3 町が実施する施策の中で、連携できると考えられる取り組み

- 町の施策と、町内の企業・団体とが連携できると考えられる取り組みとして、以下の意見が挙げられた。

分野	影響
地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ●小さな拠点（公民館等）の形成・活性化 ●地域で育む教育環境づくり ●高齢者などにやさしい環境づくり ●定住の促進、定住対策 ●飯南町のイベント情報をまとめたHPがあるため、各地区の取り組みや地区情報をまとめられたらU・Iターン者等へのPRになるのではないか ●防災対策の充実 ●アウトソーシングの受け入れ団体となることで連携と考える ●農作業等派遣職員の業務が少なくなる時期や一時的に派遣業務が少なくなった時などに、飯南町が行う業務、仕事等の委託受け入れ
子育て	—
文化	<ul style="list-style-type: none"> ●文化協会の会員の中に、保育所、学校などへ出向き発表指導などができる方がいる
教育	<ul style="list-style-type: none"> ●教育環境づくり（ハード面ではなくソフト面の強化） ●学校での出張授業や自習監督、模試監督など
農業	<ul style="list-style-type: none"> ●支援中の事業の継続
商工業	<ul style="list-style-type: none"> ●これまで同様、町と連携し、小規模事業者の経営支援、創業支援、事業承継を進める ●賑わいの創出として地域振興事業への協力など進める ●省エネ住宅への移行に対する受注
観光	<ul style="list-style-type: none"> ●観光事業
医療	—
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者福祉の維持

2.4 事業・活動を進めていく上での課題・問題 / 課題解決のために取り組む事業・活動、支援

- 課題・問題として、複数の分野で人口減少・高齢化による「人材不足」「後継者不足」「事業規模の縮小」などが挙げられた。
- 課題解決のための取り組みとしては、6次産業化などの「新たな産業の創出」、ワークシェアリングシステムの構築などの「地域内の労働力の効率利用化」、外国人労働者の受け入れ、U・Iターン施策等の「町外からの労働力の獲得」などが挙げられた。

(1) 事業・活動を進めていく上での課題・問題

分野	影響
地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢化による担い手不足、後継人材の不足、地域活動の参加者の固定化 ● 自治会の運営（集落維持）、地域コミュニティの機能維持、農地の個人維持などが困難 ● 農業、製造業、小売業、サービス業などにおける繁忙期の人員確保 ● 災害時の要支援者への連絡体制、避難誘導等の防災力強化が必要 ● 行政職員の地域とのかかわりが不足。住民も主体性に欠け、事務局が行政にあると行政任せになりがち
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ● 運営に携われる人の不足
文化	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化活動参加者の高齢化 ● 文化活動を行う場となる建物がほしい（中ホールなど）
教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習支援館の主体性、独自性等を町内外にアピールするためには人員、保護者との連携、情報発信等が不足 ● 高校魅力化コーディネーターを地域おこし協力隊の制度で雇用し続けるには限界がある
農業	<ul style="list-style-type: none"> ● 離農等によるエコロジーマの生産数量の減少 ● （人材不足、後継者不足）
商工業	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少による受注量の減少により市場が小さくなり事業継続が困難 ● 高齢化による事業承継の課題、事業者の減少 ● 町と商工会のより一体感をもった事業展開が必要
観光	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業（業務）増による作業負担（人を増やすことはできない） ● 燃料高騰による資材や商材の値上げ
医療	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少の中での安定運営が課題
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ● 各職種で労働人口が減少。特に介護職の人員不足が深刻で、事業規模の維持が難しくなっている

(2) 課題解決のために今後取り組む新たな事業・活動、事業・活動が展開しやすくなる支援

分野	影響
地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 6次産業の創出、研究調査等（地域独自の産業創出） ● U・Iターン支援（情報提供、紹介支援） ● 地域内ワークシェアリングシステムの仕組みづくり ● 地域内の交通手段の確保 ● 役所業務のアウトソーシングの促進 ● 自治区及び自治振興組織を活用した地域づくりの推進
子育て	—
文化	<ul style="list-style-type: none"> ● 町に芸術・文化に対する専門分野の部署を設ける
教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育支援法人を作り、社会教育を充実させる ● 学習支援館の認知度の向上、学習支援館スタッフの活用
農業	<ul style="list-style-type: none"> ● エコロジーマの推進支援 ● 農家の後継者育成・雇用への支援金、農業機械更新に対する支援 ● 他の営農団体との連携による問題・課題解決方法の模索
商工業	<ul style="list-style-type: none"> ● 集団的な起業支援、講習会・研修会の開催、地域振興事業の実施等 ● 町外への受注の展開（小規模修繕等の発注量の確保） ● 事業承継者の確保（事業承継者の紹介などの施策）
観光	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業の見直し（精査）、仕入業者等の変更
医療	<ul style="list-style-type: none"> ● 他の医療機関との連携による人員確保 ● 外国人の採用 ● 定住対策
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人労働者の受け入れを含めた地域外からの人材確保、外国人労働者受け入れのための啓発活動 ● 「特定技能」受け入れの支援機関の整備

2.5 人口減少に伴う課題を解決するために必要だと思う取り組み、必要とする支援

- 人口減少に伴う課題解決のための取り組みとしては、「U・Iターンの促進」「若者などの定住対策」「後継者の育成」「インターネット環境の整備と活用」「ワークシェアリング等の導入」「空き家活用」「高齢者、外国人等の雇用」などが挙げられた。

分野	影響
地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題・問題を絞り、特化した対策を行う ● まちの魅力を高める（魅力化構想） ● 自治組織等の仕組みの見直し、行政職員も地域に出て状況把握や実情を知る ● U・Iターンの促進、U・Iターン者の定着、若者の定住対策 ● 空き家（古民家）を使った住居提供 ● 若者が後継したいと思えるような土台づくり ● 外から人を呼び込む仕組みづくり、呼び込みたい人材にあわせた支援・補助 ● 米を中心にした栽培方法などの研究、及び米粉など露品開発研究機関の創設 ● 情報ネット社会に対応したビジネス環境の創造 ● 情報通信機器等(CATV回線、ドローン等)を使った暮らしやすいまちづくり ● ワークシェアリング（限られた人材を有効に活用するための仕組みづくり） ● ふるさと教育、古き良き日本の農山村景観を維持し、「日本人の心のふるさと」を創出する ● 自然環境の保全、四季の変化などの自然環境を生かした取り組み
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ● インターネット環境を整備しリモートワークができるようにする ● 金銭面だけでなく生活面の支援も必要
文化	—
教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 町の課題、求める人材・情報等を明確にする ● 住人の生活の質の向上、生活環境のデザイン ● スマホ等のアクセスしやすい方法による情報提供 ● 移住した人への継続的なヒアリングの実施
農業	<ul style="list-style-type: none"> ● 後継者育成、農業雇用に対する支援、機械導入支援 ● 飯南米有利販売に向けた支援 ● U・Iターンの定住化・促進による人口減少の食い止め
商工業	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業承継をするためのフォローアップ（事業承継推進員の配置）
観光	<ul style="list-style-type: none"> ● Uターン促進、Uターン支援 ●住宅（新築・改築）の支援、空き家活用
医療	—
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者の雇用推進と労働環境の整備 ● 更なるIターン希望者の発掘、情報発信 ● 外国人材確保支援(民間の外国人支援機関相当の機能があるとよい) ● 外国人を含む移転者向けの住宅整備 ● 福祉分野での働き方を人々が知れるような工夫があるとよい

2.6 事業・団体活動を推進するうえで、町に希望・期待すること

- 町に希望・期待することとしては、「複合施設、活動の場となる建物整備」「人材確保、労働力の共有（ワーキングシェア）」「各種助成の継続・拡充」「高齢者福祉に関する関係団体等の役割分担、共通意識の統一化」などが挙げられた。

分野	影響
地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員の皆さんが地域をよく知り、地域に関心を持ち、住民に対し心をもって対応してほしい ● 引き続き、助成金、物資の両面から支援いただきたい ● 地域おこし協力隊の任務をはっきりさせて欲しい。また、任務先の雰囲気が事前にわかるような仕組みが欲しい
子育て	—
文化	<ul style="list-style-type: none"> ● 多目的ホールではなく中ホール程度のきちんとした活動の場（建物）があると良い
教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 学生（特に大学生）の関係人口を増やしたい ● オンライン授業が実施できる環境整備 ● 保護者との関わり合いの増加
農業	<ul style="list-style-type: none"> ● 業種を超えた労働力の共有
商工業	<ul style="list-style-type: none"> ● 今まで以上に町と商工会の連携を深めた施策展開 ● 省エネ等に対するリフォーム助成、バリアフリーに対する助成の拡充
観光	<ul style="list-style-type: none"> ● 多機能型の商業施設の建設（複合施設） ● 不要施設の撤去と空き地利用 ● 道の駅・銀行（ATM）・宿泊施設・住宅・商業施設（テナント）などを一体化させた施設の建設
医療	—
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ● 外国人材確保の推進、支援機関の設置 ● 町全体での高齢者福祉に関する計画の策定。その中での各事業者・団体の役割の分担の明確化と共通認識の統一 ● 官庁受託作業が高単価で年中安定してあれば助かる

2.7 飯南町で事業・活動を展開するメリット・デメリット

- 飯南町で事業を展開・活動するメリットとして、「事業の起こしやすさ」「顔が見える人間関係」「農業に適した自然環境」「小さなコミュニティを活かしたきめ細やかなサービス」「事業間連携の取りやすさ」などが挙げられた。
- デメリットとしては、「人材不足」「市場規模が小さい」「顔が見える人間関係が時にデメリットにもなる」「冬の産業が無い」「アクセスが悪い」「これまでにない事業を起こすノウハウがない」「保守的な考えが多い」などが挙げられた。

分野	メリット面	デメリット面
地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 大企業の店舗や新規事業（起業者）が少ないため、起業のチャンスがある ● 治安・近助の良さ ● どんな人でも一度は受け入れてくれる ● 山、農地、四季を感じるができる気候と自然環境、SDGSの推進 ● 顔が見える人間関係、顔見知りが多い ● 町役場の施策・補助金、町が支援をしてくれる ● 県中山間地域研究センターが立地している 	<ul style="list-style-type: none"> ● 顔が見える人間関係は時にデメリットにもなる ● 時代を作ってきた方々がまだ現役で活動されているので新しいことを始めにくい ● 地域の存続自体が危がまれる、自治会など地域自主組織の崩壊のおそれがある ● 地区役員は男性がやるものと決めつけている風土があり、女性や青年層の参画が少ない ● 近隣都市（松江市・出雲市・広島市）へのアクセスが悪く、所要時間がかかる ● 公共交通機関がない ● 地域の市場規模が小さく、新たな事業展開を図るためには外部からの需要確保が必要 ● 冬の産業が無い、雪害
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業の数（種類）が少なく新事業が起こしやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今までなかった事業を起こすノウハウがなくフォローができない
文化	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業・活動をするにあたってまとまりやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 冬の事業や活動の外にいる方々の関心が薄い
教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 保小中高一貫教育 ● 飯南町の子もたちに特化して指導ができる ● 自然の中で育つこと、ときに雪道など不便な生活を工夫して体験できる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人材不足 ● 空き家の増加
農業	<ul style="list-style-type: none"> ● 豊富な自然 ● 雪解け水に含まれるミネラル分を含んだ水や、高原地域特有の昼夜の寒暖差がある気候は高食味のお米を作る上では絶好の環境 	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業収入が少ないため、若年層の取り込みが難しい ● 水稲生産における後継者育成が進んでいない ● 鳥獣害による被害
商工業	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内の皆さん（発注者）と事業者が顔見知りであり、信頼関係が構築されている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少による市場の減少
観光	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本一の大しめ縄を作る町（文化と技は他にない） 	<ul style="list-style-type: none"> ● インターネットの速度が遅い ● 公共交通（2次交通）が少なくアクセスしにくい
医療	<ul style="list-style-type: none"> ● 小さなコミュニティでのきめ細かなサービスが行える ● （生活背景、顔が見える関係、全数把握） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 住居の点在によりサービスの効率性が悪い ● 高齢者の移動手段の確保が難しい
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ● 医療福祉連携が取れている、取りやすい ● 高齢者福祉のサービス需要はまだある 	<ul style="list-style-type: none"> ● 労働人口、特に若年層が少ない ● 町の立地条件の悪さ ● 全てにおいて保守的な考え方が多い ● 福祉サービス資源が少なく、利用者さんの選択肢がない

2.8 飯南町で今後発展が期待できる産業、産業振興のアイデア

- 今後発展が期待できる産業、産業振興のアイデアとしては、「農林業等の6次産業化、ブランド化」「荒廃地、農作放棄地等の活用」「空き家を活用したデザイン業」「無形コンテンツの販売」「新たな販路開拓」などが挙げられた。

分野	影響
地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 現状の農業産品のブランド化や所得向上（パブリカのブランド化等） ● 農林業の振興と6次産業化 ● J-クレジットの強化 ● 農作放棄地の草刈りなどの維持管理業務 ● 荒廃地を利用してひまわり畑やコスモス畑を作る、景観用作物の普及 ● 日本人、外国人を問わず、癒しを感じられる地域づくり ● 飯南町と何らかの関わりがある人を希望により特別町民として登録し関係人口を増やす ● 町外と連携した空き家を活用したデザイン業、デザイナーとのコラボ
子育て	—
文化	—
教育	● 無形コンテンツ（音楽、動画、メタバースを活用した価値の創出）の販売
農業	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業の産業化 ● 上質な農産物の生産・販売、近隣へのお米の配送 ● 農作地（土地）が必要な人と手放したい人とのマッチング
商工業	● 町外からの受注や町外への販路開拓
観光	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域のコンパクト化（人・住居を集中させる） ● 自然を生かした観光業 ● 多機能型の商業施設の建設（複合施設） ● 同業者同士の合併や事業協力 ● サイクリングイベント等で日本中から人が集まるようにし、外食産業やキャンプ施設や宿泊施設の利用を促進
医療	—
福祉	—

2.9 町政全般として新たに取組むべき施策・事業に必要なもの

- 町政全般として取組むべき施策・事業としては、「定住対策」「空き家対策」「ネットワーク環境の強化」「子育て環境の向上」「農業維持対策」「地域医療の維持・充実」「地域福祉施設の充実」「小さな拠点づくりへの支援」「労働人口の確保」「行政と関係機関・団体との協力連携」などが挙げられた。

分野	影響
地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 定住対策 ● 空き家活用 ● ネットワーク環境の強化 ● 子育てしやすい環境づくり ● 農業維持対策 ● 地域医療の維持・充実 ● 地域福祉施設の充実 ● 職員の気概 ● 大胆な発想転換（住民の提案を取り入れる事業に対して予算総額の10%を充てる など） ● 事業審査会は行政執行部や議会ではなく自治区長に任せるなど、住民自治を進めるシステムに変更してはどうか ● 飯南町に一定期間居住する若者（後継者、U・Iターン者）の中で、奨学金を借りて大学等に進学した者については、その返還の一部を支援する制度
子育て	● 役場職員に色々な専門分野の方がいらっしゃれば、それぞれレベルの高い町づくりができると思う
文化	—
教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 腹をくくってやる覚悟 ● 建設業就業者支援 ● 新しく移住して来る方の相談役を役場の担当の方とは別に各地域で決めて、移住後の生活がスムーズに行くように配慮すること
農業	—
商工業	● これまで進めてきた定住施策を総括し、引き続きブラッシュアップした定住施策に取り組んでほしい
観光	● 小さな拠点づくり（話し合いの場も含め）への支援
医療	—
福祉	● 労働人口を増やす工夫があればよい
移住・定住	<ul style="list-style-type: none"> ● 行政と関係機関・団体とのマンパワーの協力連携 ● 住人の生活基盤と心理的安心基盤を整える ● 移住者を増やすためには現在の政策の見直し必要 ● 小中高生からも意見を聞いてみてはどうか

2.10 新しいまちづくりへのご意見（自由意見）

分野	影響
地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 町をおとずれる人（関係人口）が飯南町は素晴らしい町だと共感できれば定住者も増えて未来も開けると思う ● 若者が住みよいまちづくり、高齢者の事はあまり考えなくてよいのではないかと ● 農業は慣行栽培から有機・自然栽培へ変貌している ● 行政・議会を中心に進める地方自治制度も慣行システムから住民の意見が反映されるシステムへ変遷されることを切に望みます ● 公民館単位ではなく、もう少し大きな単位での地域生活圏づくりが必要なのではないか ● 公共施設や道路等のインフラ施設についても見直しの必要があるのではないかと ● まわりの似たような地域と同じことをするより、飯南町とは全く違う地域のまちづくりを見て飯南町にあるものないものを考え、新たなまちづくりに取り入れてはどうか ● 「都会暮らしに疲れた」という方は飯南町にある自然（農業など）や古民家（空き家）を求める方も多いのではないかと。また、移住をきっかけに新しく何かを始められる、挑戦できる補助があると飯南町でこんなことがしたいという移住につながるのではないかと ● 企業、議員、行政などが子ども達（小中高生）の意見をもっと聞く場ができて欲しいと思う。何年か先の町の運営に関わってもらっても子ども達の頃から興味を持ってもらう事は大事だと思う
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設の整備は十分だと思う。今後はソフト面に投資していくべきと考える ● 役場の方や地域のリーダーが中心となり、どのような町にしていくのか話し合い進めていくことが必要だと思う ● 地域の伝統（神楽、囃子など）を地域はもとより学校行事としても残すことが大切だと感じる。（地域ごとと子どもの数に差があるため）
文化	● 子どもにとって1番大事な時期から音楽教育や運動等をしっかり行うなど、心身ともに健全な取り組みが重要
教育	—
農業	● 希薄となりつつある人と人とのつながりを今一度見直す
商工業	● 町内に限らず圏域全体、三次市と連携しての取組など仕事量を確保する施策の展開を望む
観光	● 10～20年後の飯南町に何が必要で、何が不要かを打ち出して、早急に取り組む必要があると思う
医療	—
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ● 奥出雲町のリハビリテーション学校のようなものを誘致して若者の人口を増やし、地元のイベントなどに活気が出る様にしてはどうか ● 目的を絞って絞って重点的に行ってほしい
移住・定住	<ul style="list-style-type: none"> ● 施策各項の問題を洗い出して課題を提起し、解決策を立てるべき ● 赤名にある【さんのお】をスポッチャのような施設に作り変えてはどうか <ul style="list-style-type: none"> ・町管理の建物ではないと思うが、国道沿いで立地もよい。各地区の子ども同士の交流の場になれば部活動の選択が限られている飯南町でも色々なスポーツが体験でき、将来の進路選択も広がると思う。 ・類似施設は県内にはないので、町外からの集客も期待できる。い〜にゃんペイとの連携なども考えられる。 ・屋外で遊ぶことも大事だが、夏は暑すぎて公園の遊具などでやけど、熱中症、蜂などの害虫など危険もある

3 調査結果（町外からの定住者（移住者）／地域おこし協力隊 へのキーパーソン・ヒアリング）

■回答者：6名（町外からの定住者（移住者）3名、地域おこし協力隊3名）

3.1～3.3：移住前～移住時について

- 移住する際にもっと充実して欲しい支援としては、「雪対策」「買い物先へのアクセス経路など生活基盤についての説明」「家賃や引っ越し費用の補助など金銭面での支援」「定住研修制度・お試し暮らし制度の導入」「移住後の積極的なフォロー」「空き家改修補助の充実」などが挙げられた。

分野	影響
3.1 飯南町を移住先として選んだ理由	<ul style="list-style-type: none"> ● 祖父母などの家があったから、家族がいるから ● 転職先だったから ● 子どもにとって環境が良いと思ったから ● 将来の見通しが立てられると思ったから ● 興味関心のあった農業と教育の両方に従事することができると分かったから
3.2. 飯南町をどのようにして知ったか	<ul style="list-style-type: none"> ● 祖父母などの家があった ● 家族の出身地だった ● 大学の授業等で訪れたことがあったから
3.3. 移住する際に利用した行政からの支援、もっと充実してほしい支援	<p>(活用した支援等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 任期付仕事の紹介、任期後の支援についての説明 ● 保育所などへの取り次ぎ ● 行事や小規模な集まりなど、地域の中の様子も見せてもらえた ● 移住担当の職員の方が手続きや町での生活など、困った時には相談にのってくれたので心強かった ● 町営住宅の見学 <p>(もっと充実してほしい支援等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 雪対応や病院・買い物先へのアクセスなどの生活基盤についての説明 ● 家賃補助や引っ越し費用補助など金銭的な支援 ● 林業定住研修制度やお試し暮らし ● 短期間でも良いので、移住後の積極的なフォローの実施 ● 家（空き家）の改修補助の充実（デザイン面の相談等も含む）

3.4～3.6：移住後の生活、地域との関わり方について

分野	影響
3.4 移住後、どのような仕事をしているか <small>※地域おこし協力隊は設問対象外</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域おこし協力隊として3年間勤務し、その後、個人事業（縫製企画）を開始 その他、民間企業、NPO法人の手伝い等 ● 調理 ● 事務 ● 倉庫管理
3.5. 移住後、地域とはどのような関わりがあるか	<ul style="list-style-type: none"> ● 飯南町全域、地域の行事や集まりに参加（草刈り、お祭り等含む） ● 学校校区外のスポーツクラブに所属 ● 自治会の行事は参加だけでなく準備や片付けもするようになった ● 地域任意団体に複数所属し、活動の運営に関わるようになった ● 福祉事業や公民館事業のボランティア ● 子育て世代だけでなく多世代の方とお茶をすることがよくある ● 野菜やお菓子などたくさんの頂き物をいただく ● 同じ地区の方と子ども達を遊ばせる ● 副業（サツマイモ栽培） ● 地域おこし協力隊終了後の転職オファー ● NPO法人の主催する交流会、公民館イベント
3.6. これからの目標や夢について	<ul style="list-style-type: none"> ● 起業という字に恥じないように事業を展開したい ● 地域資源と人材雇用・育成により、地元で大きな可能性をつくりたい ● 伝統行事や文化をのこし、地元を愛する心を醸成させたい ● 道の駅赤来高原にあるお店を飯南町に来る目的の一つになるよう周知すること ● 飯南町の歴史本を作り上げる（仕事関係） ● 地域の子供たちの社会教育を充実させたい ● 教育系の法人を立ち上げ、こどもたちの学習支援 ● ほかの地域おこし協力隊終了後の就職先として人を残す仕組みを作りたい ● 不登校の児童などの支援などをしてほしい

3.7～3.8：移住して良かったこと、不満に思うこと（驚いたこと、困ったこと、不安なこと）

- 移住して良かったこととしては、「自分のやりたい仕事ができる」「落ちついた時間が過ごせる」「子どもの成長に良い影響があると感じる」「地域のひとと友好的な関係が持っている」等が挙げられた。
- 移住して不満に思うこと等としては、「冬の寒さ・雪の影響」「地域の方や地域の行事等との付き合い方」「子どもや若者の遊び場が少ない」「生活インフラが悪い」「就職時の選択肢が少ない」「将来への漠然とした不安」などが挙げられた。

分野	影響
3.7 飯南町での暮らしで満足している点、移住して良かったと思うこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分のやりたい仕事ができる ● 五感で四季を感じ、心身ともに落ち着けること ● 遅くまで営業する店がなく、まちがとても静か。自分の時間を確保しやすい ● 子どもとの時間が充実したこと ● こども達が自然の中で、のびのびと育てられている。家族以外の大人との距離が都会に比べると近い ● 自然に囲まれた環境は子どもたちの成長においてとてもよいことだと感じる ● たくさんの人によくしていただいていること ● 地域の方々がやさしい。野菜をたくさんいただいた ● 自分たちで地域行事を作っていくといった主催側の手伝いがあったこと ● 仕事の繋がりで知り合えた方と年齢関係なく幅広く友好的な関係を持てたこと ● 食材が美味しく、ごはんを作るのが楽しくなった ● 定住住宅制度、保育料無料、子どもの医療費無料
3.8. 飯南町での暮らしで不満に思う点、移住して驚いたこと、困ったこと、不安なこと	<ul style="list-style-type: none"> ● 冬が寒すぎる ● 積雪時の運転が怖すぎる ● 除雪機の貸出など雪に慣れない方への支援がない ● 最近子どもが減り除雪の時間が遅くなった ● 行事や集まりが多く、慣れるまで心労があった。また、もっとゆっくり過ごして、休日は好きなことをして楽しめると思っていたが意外と忙しくて驚いた ● あまり知らない方なのに距離感が近く引いてしまうことが多々あった ● 猪の生肉を頂いた時はどうしていいかわからなかった ● 私はよそからきたものという意識があるためか、まだまだ町に関して知らないことが多いように感じる ● 小児科が週2日しか開いていない ● 若い人（10～20代前半）が遊べる・集まれる場所がない ● 室内遊技場、ゲームセンターがない ● 驚いたこと：運動会の時の親子競技や親子活動が毎年あること、登下校のみ制服を着用すること スポ少活動に保護者が常時携わらないと成り立たないこと ● ネット環境が悪い ● 電波が入らないことが多々ある ● 水道・下水道料金が安い ● TVを見るのに毎月お金がかかる ● 町内で買い物したいが、町外店に比べると何でも価格が高い ● 近くにドラッグストアがない ● 夜間の運転は動物園のようである ● どこに行くにも時間がかかること ● 求人は出ているが就きたいと思う職種が少ない ● 若い方に町づくりに参加してほしいという想いは伝わるがそもそも先人たちがまだ活躍されている印象がある。また、若い人に町づくりに興味を持ってもらえるような土台が出来ていないように思える ● 人口減や若者人口の割合が減る中で、今後飯南町がどのように変わっていくかという漠然とした不安はある

3.9：今後も飯南町で暮らし続けたいと思うか

- 回答者6名について、「暮らし続けたい」「暮らし続けたいと思わない」「未定・わからない」は2件ずつの同数であった

分野	影響	
3.9 後も飯南町で暮らし続けたいと思うか	暮らし続けたい (2/6件)	<ul style="list-style-type: none"> ● 祖父母が大事にしていたものを感じ、子どももそれを大切にしていきたい ● 飯南町でやりたいことをまだやり切っていない
	暮らし続けたいと思わない (2/6件)	<ul style="list-style-type: none"> ● 習い事・部活・教育など、子どものこれからの経験や選択肢を広げられない ● 両親や親戚がいるので住んでいるが、20代の自分1人なら暮らし続けられない ● 物価やガソリン灯油などが高く貯金ができない、ネット環境が悪い、就きたいと思う仕事・技能が活かした仕事ができない、新しいことに挑戦しにくい雰囲気がある 等
	未定・わからない (2/6件)	<ul style="list-style-type: none"> ● 多くある候補の一つで絶対に飯南町でなければならないとは思っていない ● こども達は生活にも慣れて楽しんでいるが、祖父母が住んでいる地域にも憧れがある

3.10 飯南町で暮らす上で、町に希望・期待すること（施策の改善、アイデア）

- 飯南町に暮らす上で町に希望・期待することとしては、「移動手段の確保」「小児科の診療日を増やす」「凍結防止剤による塩害に対する補助」「荒廃した施設や遊休農地等の活用・再利用」などが挙げられた。

分野	影響
3.10 飯南町で暮らすうえで、町に希望・期待すること（施策の改善、アイデア） <small>※地域おこし協力隊は設問対象外</small>	<ul style="list-style-type: none"> ● 車移動手段の確保（移動の不便を感じる方が少なくない。地域内の輸送資源を活かして改善できないか） ● 小児科の診療日を増やしてほしい。 ・安心感がある。直接的にはないが保育所でも内科より小児科受診をすすめられることがある ● 車の凍結防止剤による塩害に対する補助金 ● 荒廃したままとなっている利用されていない商業施設の再利用 ● 農業をしてみたい人に農地をレンタルや売却してはどうか ● 移住者の再移住や不満を少なくするために、移住前から関わりをもつ ● Iターン者のイメージが悪いと感じる、過去に長期の滞納がないなど移住に条件をつけてはどうか